

特別委員会 Q & A

■ 議会の動き ■



平成18年度幕別町各会計決算審査特別委員会が、9月19日、20日の2日間開催され、一般会計から水道事業会計までの10会計について、歳入、歳出それぞれ説明後、活発な質疑応答がありました。

質疑の主な内容

〔一般会計歳出〕

例規集管理システムについて

Q 例規集管理システムを購入したが、どのようなシステムで、どう活用するのか、また、積算の基準は。

A 条例改正等の事務を全職員が容易に取り組めるよう開発されたシステムである。法令実務に専門的な知識

を必要とした事務を、全職員が共通で取り扱うことができ、省力化が図れる。

積算基準は先進町村の事例を学び、プロポーサル方式で選定した。

公区の未加入対策は

Q 公区の加入率が年々減少している。平成18年度の加入率は。加入促進の手立ては。

A 平成18年度の加入率は、世帯数10,430世帯のうち、加入世帯は9,487世帯、約91%で、約9%の世帯が未加入である。転入の際、公区制度について周知している。

協働のまちづくり支援事業について

Q 平成18年度の内容や実績は。

A 平成18年度は97件の事業が行われ、花の苗などの環境美化やごみ飛散防止ネットなどが多い。防災活動は2件と少なく、今後、周知を図りたい。

災害時のトイレについて

Q 災害時の避難所のトイレ対策について伺う。

A 幕別町では簡易トイレは用意していない。市町村間の防災協定で、道内の市町村から借りることを前提にしている。十勝全体で被災した場合を考え、防災計画を見直す段階で、リース会社と防災協定を締結することを検討している。洋式のトイレに凝固財を入れるものは価格的にも2,000円程度であり、一定程度揃えることを検討している。

子育て家庭へのゴミ袋補助について

Q 平成18年度から補助を始めたが、その配布方法について伺う。

A 平成18年度、新たな事業として子育て家庭へのゴミ袋支給を始めた。周知については、事業開始時に個別や広報で周知し、その後は、出生届けや転入届の提出時に窓口で周知している。

十勝愛育園の閉鎖について

Q 平成18年度に閉鎖され、帯広市に引き継がれたが、引継ぎその他でトラブルはなかったのか伺う。

A 閉鎖当時在園していた、3名の内1名は、帯広市在住の方で、現在、帯広市が実施している事業に通所している。芽室町の方1名は、芽室町の保育所に通所しながら、芽室町の公立病院で支援を受けられている。清水町の方1名は、ご主人の転勤で札幌市に異動した。これまで愛育園で実施してきた、巡回療育相談は、帯広市が引き継ぎ実施している。

国民年金事務について

Q 町民の年金納付記録の状況や相談はどれだけあったか伺う。

A 当初、新聞報道では幕別

9月19日～20日(2日間)



決算審査



町の年金記録が残っていないという報道があった。これは、紙の記録が残っていないという意味で、本町では、住民票等、さまざまな記録を電算化しており、年金記録も、磁気テープ等の磁気媒体に記録が残っている。その後の新聞報道等では、記録が残っている市町村となっている。

年金についての問い合わせは、町の窓口には10名、社会保険事務所に20名が相談に来た。

敬老会について

Q 敬老会の出席率が減少している。敬老会の開催方法や敬老祝い金について、どのように考えているのか。

A 合併に伴う経過措置として、敬老会対象年齢や敬老祝い金等について段階的に調整しており、それまでは現行の開催方法、支給方法で継続し、その後、関係者の意見を伺い検討する。

各種大会等への参加奨励金について

Q 全道大会や全国大会への参加奨励金は少ないと感じる。支給の基準は。

A 平成18年度の見直しで半額助成とした。これまで一番多い年度で、750万円の補助をした。近年大会数の増加やスポンサーシブの大会が増え、種目によって参加助成が極端に偏ることもある。

財政上の問題もあるが、限られた予算を、施設の整備にも使い、より良い環境づくりの観点から、保護者と町が半分ずつ出し合うという考えになった。

耐震化について

Q 学校施設の耐震化率は。

A 町内の学校施設53棟のうち、30棟に耐震化があり、耐震化率は56.6%である。今後も優先度調査に基づき順次進める。

学校給食について

Q アレルギーを持つ子供たちへの対応について伺う。

A アレルギー持つ児童生徒への代替給食は行っていない。

い。代替給食は施設上難しい。給食だよりで、アレルギー物質について周知している。

【一般会計歳入】

遊休サイロについて
Q 遊休タワーサイロの課税状況は。

A 税の公平性のから、一般住宅と同様、遊休のタワーサイロも固定資産税の課税対象となる。町内には156棟あり、合計約379万の税額となる。

【国民健康保険特別会計】

資格証明書等について
Q 資格証明書と短期被保険

者証の発行状況は。

A 平成19年6月1日現在で、資格証明書は28世帯、第5段階が23名、第6段階が12名の計98名となっている。短期保険証は129世帯に交付している。

【介護保険特別会計】

階層別の滞納状況は
Q 介護保険料の階層別の滞納状況は。

A 第1段階が9名、第2段階が28名、第3段階が9名、第4段階が17名、第5段階が23名、第6段階が12名の計98名となっている。

平成18年度決算歳出額

会 計 名		決算額(億円)
一 般 会 計		155.86
特 別 会 計	国民健康保険	28.30
	老人保健	27.91
	介護保険	12.92
	簡易水道	4.85
	公共下水道	15.57
	公共用地取得	0.38
	個別配水処理	1.80
	農業集落排水	1.07
水道事業会計		11.45
計		260.11
※町民一人当たり		約94.8万円